



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思えます。
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思えます。
よろしくお願いいたします。

★資料名

「こうすけならだいじょうぶ」

★今回の道徳の授業のねらい

自分でできることは、自分でやろうとする態度を育てます。

★お話のあらすじと内容

犬を飼いたいと思っている主人公のこうすけは、基本的な生活習慣がまだしっかりと身につけていない。起こされないと朝起きられない。部屋の掃除も注意されないとしない。そんな自分だが、犬を飼いたいという思いをきっかけに自分の生活を見直し、「こうすけなら犬をかってもらいたいじょうぶ。」とお父さん、お母さんに言われるようになろうと決心したという内容です。

★子どもたちの授業のふりかえり

- ・部屋の片づけなどはできていたから、これからもしたいです。
- ・これからごみを捨てたり、洗濯物を洗濯かごに入れたり、勉強道具は元に戻したりしたいです。わけはこうすけのように散らかった部屋にたくないからです。
- ・これからは、自分でできることは自分でしていきたいです。特に部屋が汚れていて片づけてもらっていたから、今度からは自分でしたいです。
- ・これからはもっと自分でできることをさがして、自分でできることを増やしたいです。

★家庭で話し合ってもらいたいこと

3年生のこの時期の子どもは、基本的な生活習慣をはじめとして、自分のことは自分でしなければならないとわかっています。しかし、自分でやらなくても、お家の方がしてくれるという思いから、それができないでいるということがあってもいいかもしれません。

一度、お子さんと一緒に基本的な生活習慣が身についているか、自分でできることは自分でしているか、お家の人にしてもらっていることはないかなど、基本的な生活習慣について話し合う機会を設けていただきたいです。実態をしっかりと見つけ、そのうえで、できていないことがあれば、一つ一つ自分でできることを増やすように励ましていただきたいです。その励ましにより、お子さんのできることがどんどん増えていくと思えます。よろしくお願いいたします。